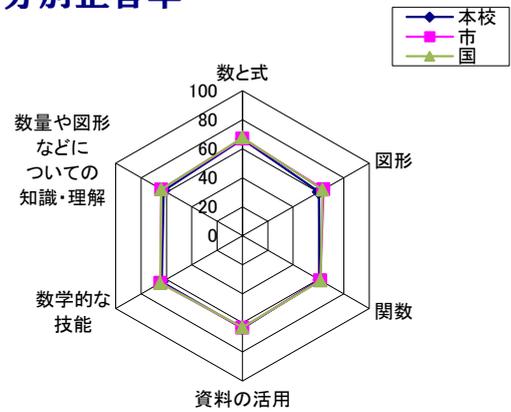


宇都宮市立陽東中学校第3学年【数学】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

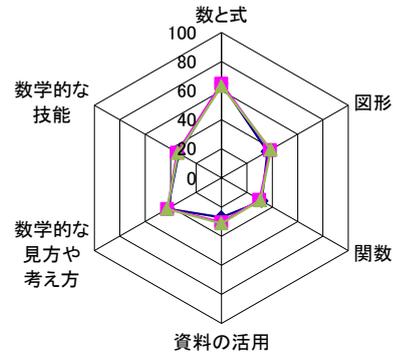
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	66.5	67.0	67.7
	図形	60.4	64.1	63.4
	関数	61.0	61.4	61.7
	資料の活用	63.6	63.3	63.0
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	63.7	64.8	65.0
	数量や図形などについての知識・理解	62.2	64.0	63.9



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	64.9	64.8	63.2
	図形	36.4	38.3	39.0
	関数	31.8	29.9	30.7
	資料の活用	27.1	30.4	31.2
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	42.3	42.6	42.8
	数学的な技能	33.7	34.9	34.2
	数量や図形などについての知識・理解			



★数学に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「数学の勉強は好きですか」という問いに対して、50.8%の生徒が「好き」と答えている。「数学の勉強は大切だと思いますか」という問いには、85.8%の生徒が「大切」と答え、「数学ができるようになりたいですか」という問いには、91.8%の生徒が「できるようになりたい」と答えている。また、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と答えている生徒は81.2%いる。これらの結果から、生徒は数学は大切な学習でありできるようになりたいと思っている。しかし、26.0%の生徒は「数学の授業内容がよく分からない」と答えており、27.8%の生徒は「解き方が分からないときは、諦めてしまう」と答えている。生徒の「数学ができるようになりたい」という思いに応えられるような授業を展開する必要が急務である。

★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○数学Bでは1.7ポイント全国平均を上回っている。特に、「事象を数学的に表現し、その意味を解釈すること」では5.8ポイント、「事象が成り立つ理由を、構想を立てて説明すること」では2.1ポイント高い。 ●数学Aでは1.5ポイント全国平均を下回っている。特に「等式の変形」では8.4ポイント全国平均を下回っている。	・知識の定着のため、ワークやプリントなどを利用してドリル学習を繰り返し学習させていきたい。 ・全国平均を下回っていた原因としては、不注意な計算ミスが考えられる。解く速さと正確さを両立できるように、プリント学習の時などに短時間で言うなど工夫をしていきたい。
図形	○数学Aで「同位角の意味」では2.7ポイント、数学Bで「証明を振り返り、新たな性質を見出すこと」では1.6ポイント全国平均を上回っている。 ●数学Aでは3.0ポイント、すうがくBでは2.6ポイント全国平均を下回っている。すうがくAで「与えられた投影図から空間図形を読み取ること」では10.3ポイント下回っている。数学Bにおいては平行四辺形になるための条件を用いて説明する問題に対して無回答率が52.3%(全国平均49.9%)であった。	・授業やワークで学習した問題に対しては正答率が上がるが、実生活に関連したような内容の問題になると正答率が下がってしまう。パターン化したような解決方法だけでなく、じっくりと考えるような証明の学習も授業に取り入れていく必要がある。
関数	○数学Bでは1.1ポイント全国平均を上回っている。特に、「与えられた票や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明すること」では6.0ポイント高い。 ●数学Aでは0.7ポイント全国平均よりも下回っている。特に、「反比例のグラフを求め問題」で5.1ポイント、「比例のグラフでお新井が与えられているとき、yの値を求め問題」で5.4ポイント下回っている。	・関数への苦手意識が強く、基本的な問題においても難しい問題であると思いつく傾向がある。「関数の式に表す」や「グラフをかく」だけの学習にならないように、グラフ・式・表などと関連づけた授業展開を心掛ける必要がある。 ・関数への苦手意識をなくしていくために、ドリル学習を取り入れ、繰り返し復習をさせていきたい。
資料の活用	○数学Aでは0.6ポイント、全国平均を上回っている。特に、「度数分布表からある階級の度数を求め問題」では6.2ポイント高い。 ●数学Bでは4.1ポイント下回っている。特に、「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的に表現し、その意味を解釈すること」では、3.6ポイント下回っている。	・他の領域のように授業で繰り返し学習することが少ないため、定着が図れていない生徒もいる。課題学習などを通して、理解の定着を図っていきたい。